

長岡工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	哲学
科目基礎情報						
科目番号	0178		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	物質工学科		対象学年	5		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	教科書は使用しない/補助教材としてpptまたはpdfファイルを配布する					
担当教員	鈴木 寛					
到達目標						
(科目コード: 10681, 英語名: Philosophy) この科目は長岡高専の教育目標の(A)と主体的に関わる。この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を、到達目標、評価の重み、学習・教育到達目標との関連の順で次ぎに示す。①哲学の諸概念について説明できる。50%(a1)、②哲学の諸概念を用いた文章を書くことができる。40%(a1)、③哲学的な文章の内容理解に関する質問に答えられる。10% (a1)。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	哲学の諸概念について詳細に説明できる。	哲学の諸概念について説明できる。	哲学の諸概念について概ね説明できる。	左記に達していない。		
評価項目2	哲学の諸概念を用いた文章を詳細に書くことができる。	哲学の諸概念を用いた文章を書くことができる。	哲学の諸概念を用いた文章を概ね書くことができる。	左記に達していない。		
評価項目3	哲学的な文章の内容理解に関する質問に詳細に答えられる。	哲学的な文章の内容理解に関する質問に答えられる。	哲学的な文章の内容理解に関する質問に概ね答えられる。	左記に達していない。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	哲学の基礎的事項や基本文献を取り上げる。哲学的教養を増やし、「哲学すること」の意義を理解する。 ○関連する科目: 現代社会 (1年)、世界史 (1年)、現代倫理 (2年)、日本史 (2年)					
授業の進め方・方法	授業時間を前半と後半に分け、それぞれ別の内容を行う。基本的に毎回、確認小テストを行う。					
注意点	基本的に毎回、確認小テストを行う。「教養を増やしたい」と真面目に考える人の履修を望む。 本科目は本来、面接授業として 実施を予定していたものであるが、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態において、必要に応じ遠隔授業として 実施 するものである。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	導入 (哲学とは何かー古代哲学よりー)	「哲学とは何かー古代哲学よりー」について理解する。		
		2週	大陸合理論/哲学の言葉に触れる (1) (ソクラテス以前)	「大陸合理論/哲学の言葉に触れる (1) (ソクラテス以前)」について理解する。		
		3週	イギリス経験論/哲学の言葉に触れる (2) (ソクラテス、プラトン)	「イギリス経験論/哲学の言葉に触れる (2) (ソクラテス、プラトン)」について理解する。		
		4週	カント (1) / 哲学の言葉に触れる (3) (アリストテレス)	「カント (1) / 哲学の言葉に触れる (3) (アリストテレス)」について理解する。		
		5週	カント (2) / 哲学の言葉に触れる (4) (デカルト)	「カント (2) / 哲学の言葉に触れる (4) (デカルト)」について理解する。		
		6週	ヘーゲル/哲学の言葉に触れる (5) (スピノザ)	「ヘーゲル/哲学の言葉に触れる (5) (スピノザ)」について理解する。		
		7週	マルクス (1) / 哲学の言葉に触れる (6) (ロック、ヒューム)	「マルクス (1) / 哲学の言葉に触れる (6) (ロック、ヒューム)」について理解する。		
		8週	マルクス (2) / 哲学の言葉に触れる (7) (カント)	「マルクス (2) / 哲学の言葉に触れる (7) (カント)」について理解する。		
	2ndQ	9週	ニーチェ/哲学の言葉に触れる (8) (カント、ヘーゲル)	「ニーチェ/哲学の言葉に触れる (8) (カント、ヘーゲル)」について理解する。		
		10週	ハイデッガー (1) / 哲学の言葉に触れる (9) (ヘーゲル、マルクス)	「ハイデッガー (1) / 哲学の言葉に触れる (9) (ヘーゲル、マルクス)」について理解する。		
		11週	ハイデッガー (2) / 哲学の言葉に触れる (10) (マルクス)	「ハイデッガー (2) / 哲学の言葉に触れる (10) (マルクス)」について理解する。		
		12週	フーコー/哲学の言葉に触れる (11) (ニーチェ)	「フーコー/哲学の言葉に触れる (11) (ニーチェ)」について理解する。		
		13週	ラッセル/哲学の言葉に触れる (12) (ハイデッガー)	「ラッセル/哲学の言葉に触れる (12) (ハイデッガー)」について理解する。		
		14週	ウィトゲンシュタイン (1) / 哲学の言葉に触れる (13) (ウィトゲンシュタイン)	「ウィトゲンシュタイン (1) / 哲学の言葉に触れる (13) (ウィトゲンシュタイン)」について理解する。		
		15週	ウィトゲンシュタイン (2) / 哲学の言葉に触れる (14) (ウィトゲンシュタイン、フーコー)	「ウィトゲンシュタイン (2) / 哲学の言葉に触れる (14) (ウィトゲンシュタイン、フーコー)」について理解する。		
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
-------	---------	----	-------	---	---	--

評価割合							
	確認テスト		相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0